

学校・学科の在り方について（第1分科会報告概要）

1 学校・学科の在り方に関する基本的な考え方（P.1）

（背景）◇高等学校教育における多様化への対応と共通性の確保 ◇大幅な生徒数の減少
（これからの時代に求められる力の育成）

社会で必要となる基礎的・基本的な知識・技能

それらを活用して課題を解決する力

主体的・協働的に学習に取り組む意欲

◇高等学校段階で身に付けるべき学力の確実な習得 ◇学校から社会への円滑な移行

（学校・学科の在り方の検討に当たっての視点）

◇中学生・保護者のニーズ、地域の産業構造に留意した学科構成。

◇中学生が志に応じて高校や学科を選択できる環境の検討。

◇拠点校・複数学科併設校の設置について検討。

◇学習指導要領等の改善や大学入学者選抜制度の改革等の動向を注視。

生徒数が減少する中であっても、生徒の希望に応じた学習ができる環境を整え、各学校・学科の特色を生かして生徒の個性や能力を伸ばし、新しい時代を主体的に切り拓く人財の育成に、「オール青森」の視点で取り組む。

2 全日制課程の方向性（P.3）

（1）普通科等

◇社会を牽引する人財、社会に貢献する人財の育成。進学対応、就職対応等、幅広い教育を提供する役割。

◇普通科系の専門学科の見直し。

（全ての学校で理数・英語教育の充実が進められるなど高校教育を巡る状況の変化に対応）

普通科・・・グローバル教育や理数教育等の拠点校の設置の検討。各校の特色化。

専門学科(理数、英語・外国語、スポーツ科学、表現)・・・設置意義等その役割を見極め、検討。

（2）職業教育を主とする専門学科

◇基礎的・基本的知識・技能、職業の多様化に対応できる資質・能力の育成。

◇大学との接続を視野に入れた職業教育の充実。

◇各専門分野の幅広い学習内容を提供する拠点校の設置。他学科・学校、産業界等との連携。

◇地域の産業構造に留意し、各専門分野の基礎・基本を重視した学科に見直し。

農業科・・・農業に関する幅広い学習内容を提供できる拠点校の設置を検討。拠点校以外は、地域の特色に応じた農業の学習。

工業科・・・基幹学科（機械、電気、電子、建築、土木）を中心に、工業教育の拠点校の設置を検討。拠点校以外は、地域の産業構造に合わせた学習内容を提供。

商業科・・・商業科目における4分野（マーケティング、ビジネス経済、会計、ビジネス情報）を学習できる学校の在り方を検討。

水産科・・・本県水産業の担い手の育成。

家庭科・・・少子高齢化等に伴う生活産業の変化に対応した学科の在り方を検討。

看護科・・・5年一貫教育による看護師養成の充実。

その他の学科・・・学科の新設は、中学生等のニーズ、地域の就業状況等を踏まえ、慎重に判断。

（3）総合学科

生徒のニーズを踏まえた系列の見直し。総合学科から他の学科へ、あるいは、他の学科から総合学科への転換等の検討により教育内容を充実。

3 定時制課程の方向性 (P. 14)

◇広く学びの機会を提供。多様な事情を抱える生徒が入学している状況を踏まえ、スクールソーシャルワーカー等専門的な知識を有する職員配置の充実。学科の検討。

4 通信制課程の方向性 (P. 15)

◇様々な事情を抱える生徒に高等学校教育を受ける機会を提供。進路変更の機会として、後期入学制度の導入を検討。

5 多様な教育制度の方向性 (P. 16)

(1) 全日制普通科単位制

◇導入校における単位制の意義を見直し、充実に努める。

◇生徒の興味・関心を高め、進路志望等の達成に資する場合には他校への新たな導入を検討。

(2) 中高一貫教育

連携型中高一貫教育・・・連携中学校の生徒数減少等により連携が難しく、今後の在り方を検討。

併設型中高一貫教育

◇三本木高校は引き続き検証し、取組を充実。

◇新たな設置については、市町村の意向や地区の中学校の生徒数の推移等を考慮し、慎重に判断。

中等教育学校・・・併設型中高一貫教育校のさらなる設置への対応と併せて、総合的に研究。

(3) 総合選択制

◇複数の学科を有する高等学校の在り方と併せて、幅広い教育活動のさらなる充実に努める。

6 学校・家庭・地域との連携の推進 (P. 19)

◇高等学校間の連携・・・これからの時代に求められる他者と協働しながら新たな価値を創造する力を身に付けるため、他校の生徒とも連携した活動により、切磋琢磨できる環境や社会性を育む機会をより多く確保。

◇小学校や中学校との連携・・・各発達段階に応じた連携の推進。

◇特別支援学校との連携・・・各校では、障害のある生徒や特別な支援を必要とする生徒一人一人の実情に応じて支援。インクルーシブ教育システムの構築。

◇大学等との連携・・・高等学校段階から大学レベルの教育・研究に触れる機会により、意欲的な生徒の能力を伸長。

◇家庭・地域との連携・・・生徒一人一人の個性や能力を伸ばす充実した教育環境の実現のため、連携を強化。

7 魅力ある高等学校づくりへの取組の推進 (P. 21)

◇各学校の魅力化・・・各校の特色化、ノウハウの共有、高等学校教育の質の確保・向上により、魅力ある「行きたい学校」として選ばれる学校であることが重要。

◇各学校の情報発信・・・各校の取組や育成する人材像を明確に示し、中学生等が十分理解した上で進路選択できるよう情報発信。

◇教員の資質向上と専門的スタッフの配置・・・教員の資質向上。専門的スタッフ等の配置・拡充を検討。

◇全国からの生徒募集・・・全国募集する学科について検討する場合には、本県の高校生のニーズを第一に様々な視点を考慮。